

3.8 国際女性デー 集会アピール

3.8 国際女性デーは、1857年にニューヨークの被服工場で起きた火災で多くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に女性たちが低賃金・長時間労働に抗議を行ったことが起源であると言われています。その後、1908年3月8日には、女性労働者たちが賃金改善と労働時間短縮、そして婦人参政権を求めて「パンとバラ」を掲げ、デモを行いました。

以来、この日は「女性の政治的自由と平等のために行動する記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々なイベントや運動が行われています。今年は、国連が3月8日を国際女性デーと定めてから50年目の節目に当たります。

日本は、1985年の男女雇用機会均等法の制定から、今年で40年が経過しました。連合も1991年からジェンダー平等に関する取り組みを進めて約35年、少しずつ前進してきましたが、皆さんにとって「女性を取り巻く環境が変わった」と実感することはあったでしょうか？

日本は世界的に見てジェンダー平等の取り組みが遅れています。

連合山口女性委員会では、レインボーパレードの参加や、連合ジェンダー平等推進中央集会への参加等を行っています。ジェンダー平等を意識し、すべての人が働きやすい職場環境の整備に取り組みが必要です。

今年の3.8 国際女性デー全国統一行動のテーマは、“一人ひとりのパワーを結集！～社会を変える取り組みの加速へ～”です。自組織だけでは解決できない困りごとは、働く仲間の声を集めて、私たち自身で社会を変えていく意識を持つことが必要です。

一人ひとりの行動で、年齢や性、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人たちの人権が尊重され、安心して働くことができる持続可能な社会の実現をめざしましょう。

2025年3月1日

3.8 国際女性デー啓発行動
連合山口女性委員会